

## 第31回 ITER 職員募集説明会（那珂）でのQ&A

### 1. 日時・場所

平成21年10月25日（日）11:00～15:00

JAEA 那珂研究所 ITER 附属会議棟

### 2. 来訪者 4名

### 3. 説明概要

H21年度那珂研施設公開の機会を利用して、ITER 機構職員募集および情報提供のための登録の案内を行うとともに、参加者に資料を配布し、模擬面接ビデオを紹介した。（安東俊郎 ITER 協力調整 SGL）

### 4. 説明会での主なQ&A

Q1: 応募の手続きはどのようにすればいいのですか？

A1: 募集ポストは随時ITER機構HPに掲載されます。それぞれの募集ポストに対して、職務内容を記載したジョブディスクリプションがダウンロードできるようになっています。それを見て応募するポストを決めていただき、応募書類（Motivation Letter、Curriculum Vitae、Personal History Formを一つのPDFファイルにまとめたもの）を日本の受付窓口宛て（ando.toshiro@jaea.go.jp）にメール添付で送って下さい。同時に、署名入りのオリジナルの応募書類も受付窓口宛てに郵送して下さい。応募手続きの詳細についてはこちらをご覧ください。

<http://naka-www.jaea.go.jp/ITER/recruit/2009.4/20090414oubotetuzuki.html>

Q2: 応募書類の英文チェックは行ってもらえますか？

A2: 募集情報提供のための登録制度に加入されている方を対象として、応募書類の英文確認を行っています。応募ファイル（word）を下記のアドレスへ送って下さい。JAEAの米国人スタッフがコメントを付けて返送します。

[jada-iterkoubo@jaea.go.jp](mailto:jada-iterkoubo@jaea.go.jp)

Q3: 面接トレーニングはどのように行っているのですか？

A3: ITER機構の面接は、テレビ会議により英語で行われます。面接では、ご自身の職務経歴や応募の動機、職務への取り組み方などに関するプレゼンテーションを行い、インタビューからの様々な質問に答えなければいけません。そこでJAEAでは、募集情報提供のための登録制度に加入されている方で、面接を受けることになった方を対象として、JAEA米国人スタッフが、面接時のプレゼンテーションや質疑応答に関するトレーニングを行っています。那珂研の近くにお住まいの方には直接対面方式で、遠方にお住まいの方にはPCのSKYPE（これを利用できない場合は電話）を利用して、実際のテレビ面接に近い条件で面接トレーニングを行っています。

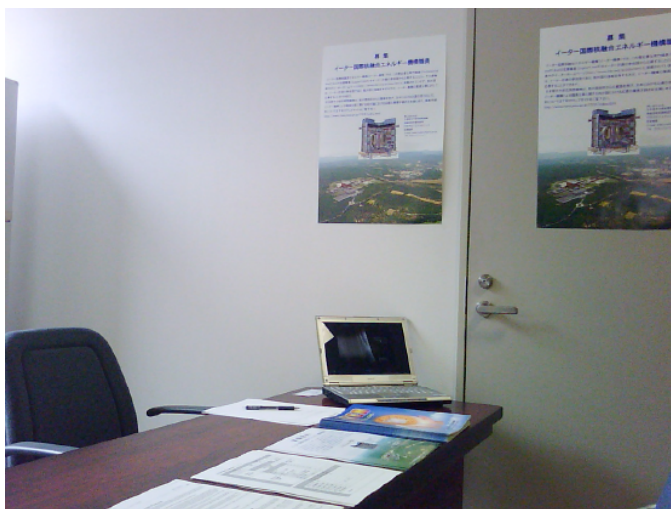
Q4: 事務系のポストも募集されますか？

A4: ITER機構には、研究系、技術系のポストの他に、人事や財務、予算、調達、契約などの管理部門の職務もあります。また、広報に関する仕事もありますし、秘書やアシスタントといった支援業務もあります。今後もこれらのポストは随時募集されます。

Q5: 核融合に関する職務経験がなくても大丈夫でしょうか？

A5: ITER機構職員には、例えば炉心プラズマの設計のように核融合に関する専門知識が必要な職務は当然ありますが、多くのポストは機械、電気、原子力、情報、建築、土木などの工学分野やプロジェクト管理、安全管理、品質保証などの実務経験を有する方を幅広く求めています。各々の募集ポストに対して、その職務内容を記述したジョブディスクリプションに、応募者の実務経験や専門性などに関する条件が具体的に記載されています。

以上



第31回ITER職員募集説明会（於那珂研）での説明ブース